



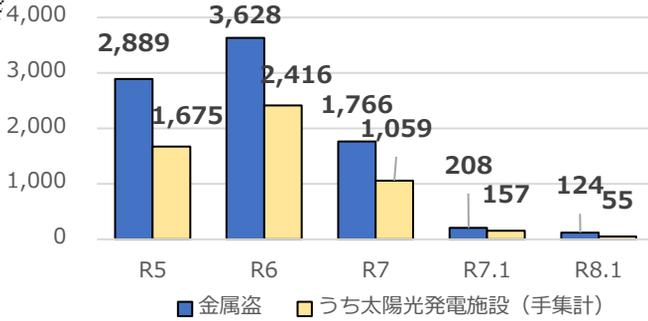
県警HP



防犯アプリ

## 金属類を対象とした窃盗事件の発生状況

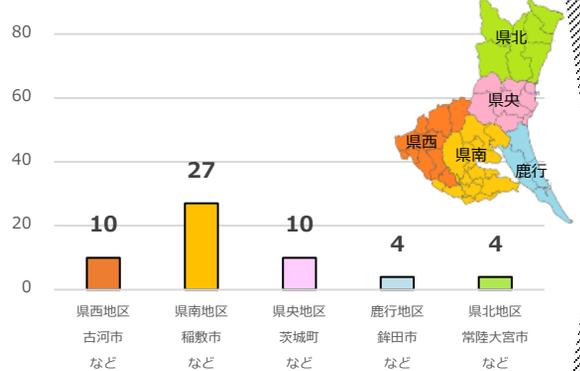
1 金属盗の発生件数（暫定値）



茨城県は、金属盗の発生件数が全国上位  
発生件数は、昨年同時期約40%減少  
太陽光発電施設での被害が約44%

## 太陽光発電施設関係の発生状況

2 令和8年1月末の地域別の発生件数（暫定値）

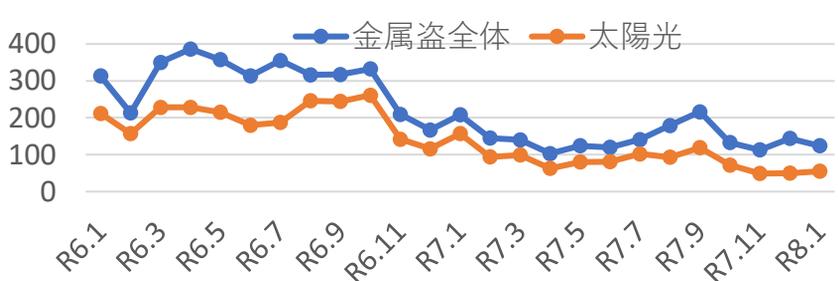


県南地区で約5割  
小規模太陽光発電施設での発生が多い

## 金属盗等の現状と対策

### 令和6年以降の金属盗月別認知件数

金属盗は令和6年秋頃を境に大きく減少  
令和7年は夏頃に増加するも冬期が近づくにつれ減少。  
県警察では、減少傾向を維持すべく、金属盗対策を、鋭意推進中！



## 違反金属買取事業者への行政処分！

令和7年、盗品の処分先となり得る金属買取事業者への規制を強化するため、改正条例を施行され、県警察では、立入を行い、違反業者への行政処分を実施しています。



## 建設現場、倉庫も狙われています！

建設現場や倉庫から、銅線ケーブルや太陽光パネル、建築資機材が盗まれる被害が確認されています。

大型資機材を盗む時には、トラッククレーン車などが使用されている可能性があります。

- ・夜間・遠隔監視可能な防犯カメラを設置
- ・工事日まで高価な資機材を持ち込まない
- ・外部から見えない場所で保管
- ・高価な資機材は固定・連結などの複数対策が有効です。

ケーブル露出部分が切断されやすいため、物理的に切られない対策をお願いします。



集電盤根巻き

防犯網板

### 太陽光発電施設被害抑止対策

銅線ケーブルが管内で固定されていたので、犯人が断念した事例があります。



- ・フェンスセンサーやワイヤーセンサーの導入（異常時に通知を行うもの）
- ・機械警備の導入（ケーブル切断などの異常を感知し、通知を行うもの）
- ・警報装置の設置（音や光で犯人を威嚇し、周囲に異常を知らせるもの）
- ・引込柱や集電箱へのフェンスやカバーの設置（ケーブル切断対策）
- ・ケーブルが引き抜かれないための対策（埋没・ケーブル管内の固定など）
- ・防犯カメラ（AI・警報機能付き）などでの夜間監視体制の強化
- ・アルミケーブルの導入
- ・センサーライトなどの照明機器の設置